

今年の冬は例年とは違います

プロジェクト・チームから市民の皆さんへのお願い

新型コロナの感染が市内で拡大すれば、再び市民の皆さんの生活や経済活動を制約せざるを得ない状況になる可能性があります。プロジェクト・チームでは、これまでの感染データをもとに、感染を『拡大させない』ことに重点を置いています。そのためには、皆さん一人一人の協力が不可欠です。

【あなただけの問題ではありません】

新型コロナの感染拡大を防ぐには、「感染経路」を断つことが重要です。「自分は大丈夫」との気持ちから、感染をたくさんの人に広げる可能性があります。

お願い1 対面時は必ずマスクを付けてください

主な新型コロナの感染原因は「飛沫感染」「接触感染」です。つまり、マスクを外している瞬間に『感染リスク』は増加します。飲酒の有無に関わらず会食時やカラオケなどは、マスクを外す機会が多く、「感染リスク」が非常に高くなります。



【持ち込まないために。感染リスクは4倍です】

感染拡大防止のためには、新型コロナを「持ち込まない」ことが重要です。そのために、感染リスクをしっかりと把握し、感染リスクを下げながら会食を楽しむ工夫が必要です。

お願い2 大阪市内での会食はお控えください

6ページで記載のとおり、大阪市内での感染リスクは寝屋川市内の4倍です。やむを得ず大阪市内で会食する場合は、次の2つに注意しましょう。

- 特定のメンバーで
- 個室などを利用し、不特定多数との接触の場を避ける

外食する際は、できるだけ寝屋川市内の「感染防止宣言ステッカー」（右の図のとおり）を掲示した店舗での飲食にご協力を。



学校関係者（保護者を含む）や介護施設などの従業員の皆さんへ

保護者・学校関係者の感染で学校園が臨時休校園（学級休業）になるケースが増えています。

特に注意を!

高齢者が感染すると重症化するリスクが高いです。

あなたの行動で、学校園までもがストップする事態、高齢者施設などでのクラスターを招く可能性があることをご理解いただき、ご協力をお願いします。

特集 ▶ 新型コロナウイルス感染症対策

プロジェクト・チーム発足

市では、新型コロナの感染拡大を防止するため、各部局を飛び越えた、プロジェクト・チームを結成しました。冬季を迎え、全国的な感染拡大が懸念される中、本市での感染拡大を食い止めるべく、プロジェクト・チームのもと、対策の強化・啓発を行っていきます。

☎ 新型コロナウイルス感染症対策室 (☎829・1210)

冬 到来! 新型コロナの現状

第3波!? 「日本全域」で 感染“再び”拡大…

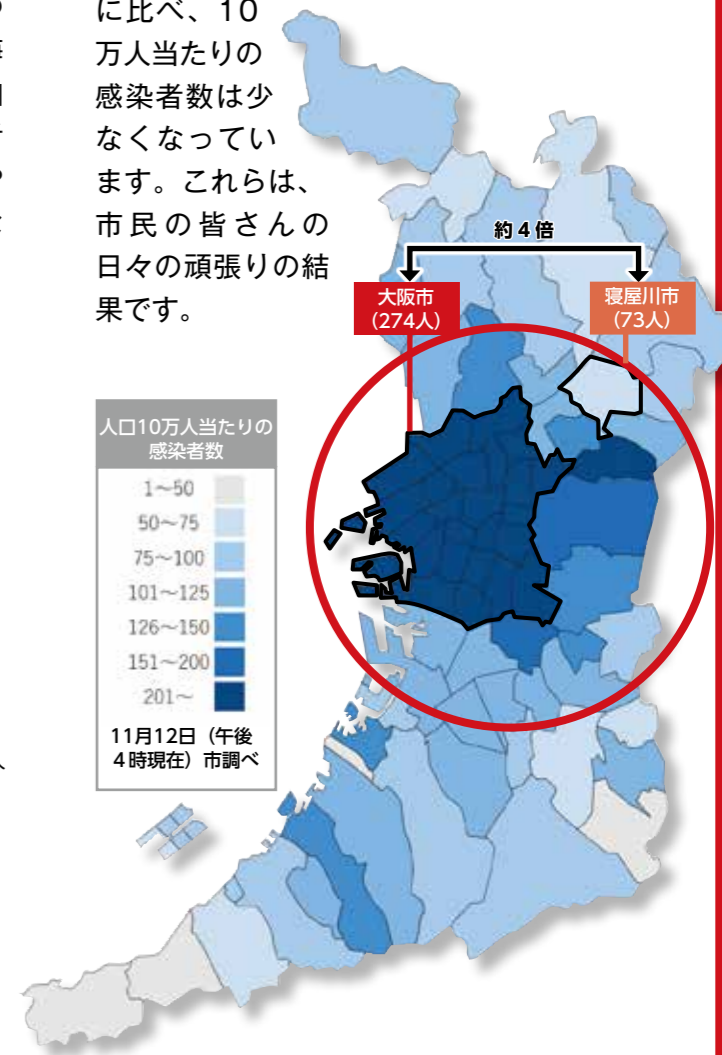
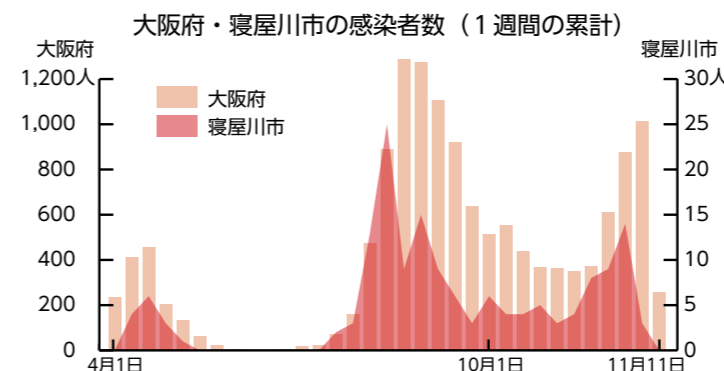
新型コロナ対策を助言する厚生労働省の専門家組織「新型コロナウイルス感染症対策アドバイザリーボード」の会合が11月11日に開かれ、感染状況について「11月以降増加傾向が強まっている。特に北海道や大阪、愛知を中心に増加がみられ、全国的な増加につながっている」との見解をまとめました。感染者が急増する「ステージⅢ」相当以上に当たると政府や自治体が判断すれば、経済活動の制約は避けられない可能性があることが示されました。

大阪市内は4倍の 感染リスクが…

感染者数が多い大阪市内は、感染リスクが当然高くなります。幸いにも本市は他市に比べ、10万人当たりの感染者数は少なくなっています。これらは、市民の皆さんの日々の頑張りの結果です。

本市でも増加傾向

大阪府では3か月ぶりに1日当たりの新たな感染者数が200人を超え、大阪府知事は「今まさに第3波に入っているような認識だ」と述べる中、本市においても、10月初旬に比べ、市内感染者数が増加傾向にあります。



シルバー世代の皆さんへ

「感染リスク」が高い行動を控えましょう

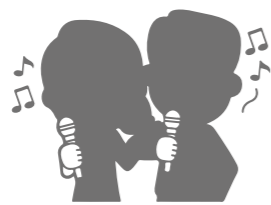
これまで市内ではシルバー世代の2人が新型コロナでお亡くなりになりました。
(11月16日現在)

【死因】肺炎・敗血症、新型コロナウイルス肺炎

これ以上、新たな「悲しみ」を増やさないために。
次の行動には**注意**してください。



マスクなしでの会話



カラオケ



サークル活動



お茶会
(飲酒の有無に関わらず)

マスクなしでのこれらの行動は「飛沫感染」での感染リスクが高まります。マスク着用は「飛沫感染」や「接触感染」から自分自身を守るために有効とされています。また、最近、鼻を出して、口だけにマスクを着用する人の姿を多く目にします。鼻から口まで、しっかりとマスクを着用しなければ予防対策にはなりませんので、しっかりと着用しましょう。

トピックス

シルバー世代の重症化率は、30歳代に比べ47倍!?

新型コロナウイルス感染症と診断された人のうち、重症化しやすいのは、シルバー世代と基礎疾患のある人です。また、重症化する人の割合や死亡する人の割合は下の表のとおり年齢によって異なり、シルバー世代は高くなります。

30歳代と比較した場合の各年代の重症化率

年代	10歳未満	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代	90歳以上
重症化率	0.5倍	0.2倍	0.3倍	1倍	4倍	10倍	25倍	47倍	71倍	78倍

※「重症化率」は、新型コロナウイルス感染症と診断された症例（無症状を含む）のうち、集中治療室での治療や人工呼吸器などによる治療を行った症例又は死亡した症例の割合。

重症化のリスクとなる基礎疾患

- 慢性腎臓病 ●慢性閉塞性肺疾患 (COPD) ●高血圧
- 糖尿病 ●心血管疾患 ●肥満 (BMI 30以上)

※妊婦、喫煙歴なども重症化しやすいかは明らかでないが注意が必要。

※【出典】厚生労働省「新型コロナウイルス感染症の“いま”についての10の知識」

家庭に「持ち込まない!」

個人・家族でも予防対策を徹底してください

ストップ!「家庭内感染」

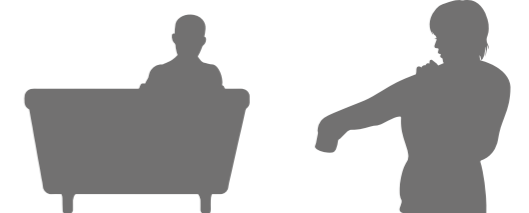
ウイルスは当然『外』からやってきます。一日中家に居て、誰にも会わなければ、感染することはほほないでしょう。しかし、私たちには『生活』があり、人間らしい生活を送るには、『外出』は避けては通れません。そのためには『持ち込まない』ことが重要です。感染リスクを下げ、コロナ禍でも楽しく生活を送るために、一人一人が予防対策を行う必要があります。

少しの習慣が家庭内感染を防ぎます

外出の際のマスク着用はもちろんですが、帰宅後の対策も重要です。外出時は、どんなに気を付けていても、不特定多数の人と接します。いろいろな『物』に接触する「手」はもちろん、髪の毛や衣類にも感染原因となる“飛沫”が付着している可能性があります。帰宅後の対応で、大切な家族を守りましょう。



手洗い (帰宅後すぐに)



入浴・着替え (帰宅後すぐに)

◆市独自の対応フェーズ

市では、市内での新型コロナの感染拡大状況に応じて、市や市民の皆さんが取るべき行動を示した内容を6段階で定めています。

状況に応じて自身の取るべき行動を事前にチェックしよう!

- フェーズ5 国による緊急事態宣言が発せられた場合
- フェーズ4 市内において感染の拡大が顕著な状態 若しくは、感染者数が高い水準で推移している状態
- フェーズ3 学校園・保育所関係者に感染者が発生した場合
- フェーズ2.5 市内において感染の拡大傾向 (減少傾向) がみられる状態
- フェーズ2 市内において感染が散見される状態 **11月16日現在**
- フェーズ1 国又は市内で、未だ感染が確認されている状態

※①各対応フェーズの詳細については市ホームページ (右上のQRコード) をご覧ください②上記の情報は、11月16日現在です。市の対応フェーズや対応フェーズの内容は状況に応じて変更することがあります。

